

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科	子ども教育学科		
科目名称	臨床心理学						授業形態	講義・演習	
科目コード	304500	単位数	2単位	配当学年		実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	田原 玲奈							ICT活用	○
授業概要	ストレス社会である現代社会において、心の病は深刻な社会問題である。進学や就職、結婚や出産等のライフイベントも大きなストレスである、また原因ははっきりしないが何となく生きづらさを抱えている人もいる。臨床心理学は科学的に研究するだけでなく、実際に援助していく学問でもあるので、そうした心理的な障害や困難を抱えた人を支援し、より良い人生を送るために援助していく。実践する学問である臨床心理学を理解するために、心理療法や心理検査などが特に小児発達の現場ではどのように行われているのかを概説していく。								
関連する科目									
授業の方法と進め方	基本的な授業スタイルは講義形式である。不定期でグループワークや演習を取り入れることもある。								
第1回	「臨床心理学とは何か」 ・オリエンテーション（授業の進め方や評価の仕方の説明） ・臨床心理学とは何か。歴史や理念について学ぶ。								
第2回	「心理学的視点による人間理解」 ・生物ー心理ー社会モデル（BPSモデル）による人間理解を深める								
第3回	「心理アセスメントの基礎」 ・面接法・観察法・心理検査について学ぶ								
第4回	「発達理論の基礎①」 ・フロイトやエリクソン、ピアジェなどの理論を概観する								
第5回	「発達理論の基礎②」 ・発達課題について								
第6回	「主な心理療法①」 ・精神分析的アプローチについて学ぶ								
第7回	「主な心理療法②」 ・認知行動療法の基礎について学ぶ								
第8回	「主な心理療法③」 ・人間性心理学と来談者中心療法について学ぶ								
第9回	「子どもの心理的困難の理解①」 ・発達障害の基本理解								
第10回	「子どもの心理的困難の理解②」 ・不登校、いじめ、愛着の問題などについて								
第11回	「ケースで学ぶ子ども理解」 ・架空事例に基づき、事例検討する。								
第12回	「心理支援の技法と関わりの姿勢」 ・傾聴や受容などを学ぶ								
第13回	「精神疾患の基礎知識」 ・気分障害、不安障害、統合失調症などの理論的理解								
第14回	「セルフケアと関係性の理解」 ・ストレスとの関わりやセルフケア、子どもや保護者との関係性作りについて								
第15回	「これまでの振り返りと学校現場での活用」 ・これまで学んだことを通して、今後どのようにして多職種と連携し、学校現場で活用していくかを考える								
授業の達成目標	1. 臨床心理学の主なアセスメントや心理療法について説明することができる（DP1）。 2. 対人援助の基本姿勢を理解し、日々の対話で実践できる（DP2）。 3. 自己理解や他者理解を深め、自己一致を目指していくことができる（DP3）。								
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力ー(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力ー(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養ー(1)								

授業時間外学習【予習】	配布された資料や参考図書を事前に読み、講義内容の概略を把握しておく。
授業時間外学【復習】	授業内容の確認と復習、紹介された参考図書を読む
課題に対するフィードバック	不定期に行われる小テストを行って授業内容の理解度を確認。振り返りは次の授業にて行う。
評価方法・基準	授業中に行われる不定期の小テストの平均得点率（50％）と出席率（50％）を合わせて評価（100点とする）。
テキスト	
参考書	授業中に適宜紹介する。
備考	